令和3年度学校評価

北海道根室高等学校

1　本年度の学校教育目標

1 変わりゆく自己や社会について探究し、主体的に学び続けられる生徒
2 多様性を認め、他者と協働できる生徒
3 心身ともに健康で、思いやりと社会性のある生徒

2　自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	評価の考察	学校関係者評価	
1　カリキュラム・マネジメントの推進	・　新たな学校教育目標に基づき、スクール・ポリシーを作成、それを分掌や学年、教科等で実現に向けた計画を立て教育が進められた。 ・　生徒に身に付けさせたい１０の資質・能力から「対話力」と「挑戦力」を重点目標として、共通理解のもと教育活動を進めた。 ・　PDCAサイクルに基づき、検討すべき学校課題の改善に努めた。 ・「授業第一宣言」のもと授業改善を進め「分かる授業の実践」に努めた。 ・　生徒1人1台のPCとGoogleClassroomの活用により、ICT化が進んだ。また、学習保障の観点からも家庭で学習に取り組める体制を整えた。 ・　項目平均　3.16/4点(前年比+0.37)	評価	B
		・「グランドデザイン」、「育成したい生徒像」の実現に向け生徒の状況に応じた教科・科目や学校行事の設定、選択科目の内容、総合的な学習（探求）の時間の内容等が工夫されている。 ・授業のICT化を積極的に取り入れ日々の授業が展開されている。	
改善方策	適切な教育課程の実施（新学習指導要領1年目）、観点別評価の導入に伴う適切な生徒評価を実施と授業改善を進める。		
2　地域の信頼に応える魅力ある学校づくりの推進	・　生徒・保護者・地域への学校webページ・ポスター・パンフレット、地域広報誌と適切な情報発信に努めた。またメールによる緊急連絡体制の充実に努めた。 ・　小中高の連携・協働では「休業中の小中学生への学習サポート」など活動の素地を構築した。 ・　地域との連携・協働「北方領土関連行事」・「防災教育」等など地域の教育力の活用し教育を行った。 ・　項目平均　3.09/4点(前年比+0.28)	評価	A
		・学校からの情報提供（学校案内、学校宣伝ポスター、ホームページ、市の広報誌等）は適切に行われた。 ・他校種（特に地域の小中学校）との連携の定例化。 ・根室市唯一の高校として、より一層地域と連携した教育活動の推進を進めて欲しい。	
改善方策	学校PRのより一層の充実、地域との連携・教育力の活用と郷土学習の系統化、学校間連携を進め共通理解を深める。		
3　生徒一人一人へのきめ細やかな指導や支援の推進	・　学校全体の雰囲気が良く、生徒が生き生きと学校生活を送っている。 ・　教育相談や面談を通して生徒一人一人と丁寧に向き合い、生徒の指導を行った。 ・　信頼関係を基盤とした指導や支援により、生徒の自己指導能力の向上を図った。 ・　いじめ防止に対し、組織的・計画的な取組に努めた。 ・　特別な支援を必要とする生徒への指導・支援体制を整えた。 ・　項目平均　3.08/4点(前年比+0.34)	評価	B
		・雰囲気が良く、生徒が生き生きと学校生活を送っている。 ・教育相談や面談を通して生徒の悩みや不安等を把握しようと努めている。	
改善方策	授業、生徒会、委員会等を通じて生徒の主体性を育成、自己管理能力を高める生徒指導の充実		
4　組織的･系統的なキャリア教育の充実	・　全ての教育活動を通じてキャリア教育を意識した取組に努めた。 ・「2年次のインターシップ」ではすべての生徒が職業体験を実施した。そこで自らの職業的な能力や適性を学び、勤労観や職業観を養った。 ・　ICTを活用した進路関連情報の公開、各種ガイダンス機能の充実が進んだ。 ・　担任を中心に面談等の細やかな個別の支援が行われた。 ・　項目平均　3.19/4点(前年比+0.28)	評価	B
		・望ましい勤労観や職業観を身に付けさせる多様な指導が年間を通じて行われている。 ・ICT化により進路情報公開、各種ガイダンス機能が充実 ・進路実現のための体制（各種講習、インターンシップ、模擬試験、きめ細やかな個別の支援等）が整っている。	
改善方策	中小企業家同友会と連携を深化させインターンシップ等のキャリア教育の充実を図る。		
5　健康でいきいきとやりがいを持って勤務し、教育の質を高められる環境の構築	・　学校課題に基づいた研修、計画的な初任段階研修の充実が行われ、各種研修の参加やＯＪＴ等による教職員の資質・能力の向上が行われた。 ・　分掌や年次、教科等の協働体制が確立し、風通しのよい職場環境が作られた。 ・　学習や進路指導、生徒指導や教育相談について、生徒と向き合う時間が以前より確保されたが、更なる業務改善が必要と考える。 ・　項目平均　2.94/4点(前年比+0.35)	評価	B
		・職場環境の改善が行われている。 ・今後とも生徒と向き合う時間の確保と充実をお願いしたい。 ・働き方改革の推進し業務の平準化をすすめ、より働きやすい環境をつくりを進めて欲しい。	
改善方策	北海道アクションプラン（第2期）に基づいた働き方改革を進める。組織的な業務の推進（分掌のリーダーシップとベクトルの明確化）		